

「ひろしま さとやま未来博2017」を開催(3月25日開幕～11月まで)

人口減少が進む県内の中山間地域の振興策のひとつとして、地域で頑張っておられる方々をサポートする人材のネットワークづくりを加速させるため、その起爆剤となる県民参加型の大規模プロジェクトを開催します。地域の担い手となる若手リーダーの育成や広島豊かな自然に魅力を感じ「広島で地域の皆さんと色んなことをやってみよう」という首都圏や県内外の若者と地域住民の皆様を結び、交流促進を図る機会をつくっていきます。

中でも地域で役割を終えた学校を新たな地域の拠点として甦らせる「廃校リノベーション」事業(県内で3箇所)の1つに三原市大和町の旧和木小学校が選ばれました。2020東京オリンピック・パラリンピックの新国立競技場をデザインされた建築家の隈 研吾(くま けんご)様の監修で、学校がどんな姿に生まれ変わるのかとても楽しみです。ご期待下さい!



改装前の旧和木小学校の外観写真



内装の完成イメージ図

人びとが集う  
木と和紙デニムの学校へ。  
和木小学校の2階の広い空間を活用し、レンタルスペースを設け、地域の研修・交流の拠点として改修します。校舎の外側と内部には、円形の縁側や和紙デニムの屋根・カーテンを設置予定です。

(出展：ひろしま山交流プロジェクト実行委員会)

さとやまソーシャルライド

県内350箇所以上のチェックポイントを自転車で巡ります。専用アプリを使いチェックポイントの写真をSNSで投稿するとポイントが貯まりプレゼントを獲得するチャンスもあります。是非ともご家族や友人の方々と参加していただき、地元・広島の良いさを再発見して下さい。

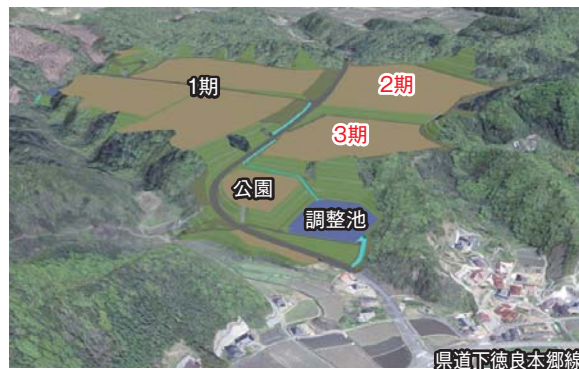


参加方法

- 1 各種スマートフォンで、専用アプリ「さとやまソーシャルライド」をダウンロードし、登録します。
- 2 行きたいチェックポイント(ログスポット)を探して選択すると、自動的にルートが算出されます。
- 3 ログスポットを訪れ、SNSで写真を投稿するとポイントを獲得。

本郷産業団地の進捗状況と今後の事業スケジュールについて

以前の活動報告に掲載した産業団地の造成ですが、平成29年度は伐木や工事用道路の整備、井戸等の水質調査業務を実施する予定です。近隣の皆様をはじめ引き続きのご理解とご協力をお願いします。



▲旧船木小学校側から見た完成予想図

今後の事業スケジュール表

	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
実施設計	●	●					
許可申請		●					
区域内上水道設計			●				
公告～技術審査			●				
造成工事				●			
井戸等水質調査業務				●			
確定測量						●	

広島県議会議員(三原市・世羅郡)

くわ き よし のり  
桑木良典  
議会だより 第19号

2017年4月発行

現在の主な役職

- 【県議会】 ○建設委員会 副委員長  
○安心な環境づくり対策特別委員会 委員



広島県の平成29年度予算が成立

2月16日から3月15日まで2月定例県議会が開催されました。平成29年度予算編成や事業を推進する基本方針として「広島からの地方創生～仕事も暮らしも欲張りなライフスタイルの実現」に向けて、産業振興や雇用の創出、観光や交流人口の拡大を図る施策を積極的に展開し、広島県が個性豊かでより暮らしやすい地域になるよう取り組みを進めて参ります。

今年(知事2期目)の最終年度(任期は11月)であり、これまで推進してきた「ひろしま未来チャレンジビジョン」に基づき、「災害に強いまちづくり」「人づくり」「働き方改革」などの政策を更に加速する内容となっています。人口減少やグローバル化に対応するための平成29年度広島県一般会計予算(9,779億円)や「ひろしまの森づくり県民税条例」の一部改正、「NPT運用検討会議における核軍縮・核不拡散の更なる推進に向けた合意文書の採択を求める決議」や「介護職員の人材確保の強化」を国に求める意見書など、61件の議案について審議し可決しました。

主な事業としては、災害に強い県土づくりに向けた砂防えん堤や防潮堤等の海岸保全施設の整備(186億円)や、県内企業の新規事業の展開や雇用確保を支援する事業(2億7,800万円)、企業立地の促進や産業用地の確保に取り組む市や町への助成(43億7,000万円)、ひろしま農業創生事業として、担い手の育成や独立就農の支援(1億5,200万円)、急性期医療から在宅医療・介護まで一連のサービスが適切に提供されるための地域医療介護総合確保事業(50億4,900万円)が実施されます。

現在、建設委員会副委員長として、公共施設の整備や維持管理、土砂災害や高潮対策、河川の堆積土の浚渫などの事業に取り組んでおり、洪水などに備えた河川の堆積土などの撤去に充てる事業費を「社会資本未来プラン」で位置づけ、平成23～27年の総事業費は31億2,000万円でしたが、ここ5年間は総額40億円に増額したところございます。

依然厳しい県財政ではございますが、皆様からの声を県政に届け、「安心な暮らしづくり」を基本とした元気な広島の創造に向けて精力的に活動して参ります。

区分	H29	前年度比	備考
県	3,505	▲22	法人二税の増など
地方交付税	1,585	▲148	普通交付税の減
県債	1,147	▲77	
うち臨時財政対策債	598	▲38	(実質的な地方交付税)
国庫支出金	975	▲54	県費負担教職員制度の見直しに伴う減など
その他の歳入	2,566	▲20	地方消費税清算金の減など
歳入合計	9,779	▲277	
うち一般財源総額	5,660	▲371	
法的義務負担経費	3,545	246	
うち社会保障関係費	1,302	35	後期高齢者医療費負担金の増など
うち市町への税交付金等	1,551	150	個人県民税所得割交付金の増など
経常的経費	4,002	▲576	
人件費	2,446	▲530	県費負担教職員制度の見直しに伴う減など
職員給与費等	2,201	▲453	
退職手当	245	▲76	
公債	1,556	▲47	
政策的経費	2,232	54	
公共事業	778	13	
補助公共等	475	▲5	
単独公共	244	14	建設事業の増など
災害復旧事業	59	4	
その他の事業	1,454	40	預託制度運用費の増など
歳出合計	9,779	▲277	
うち一般歳出	6,672	▲380	

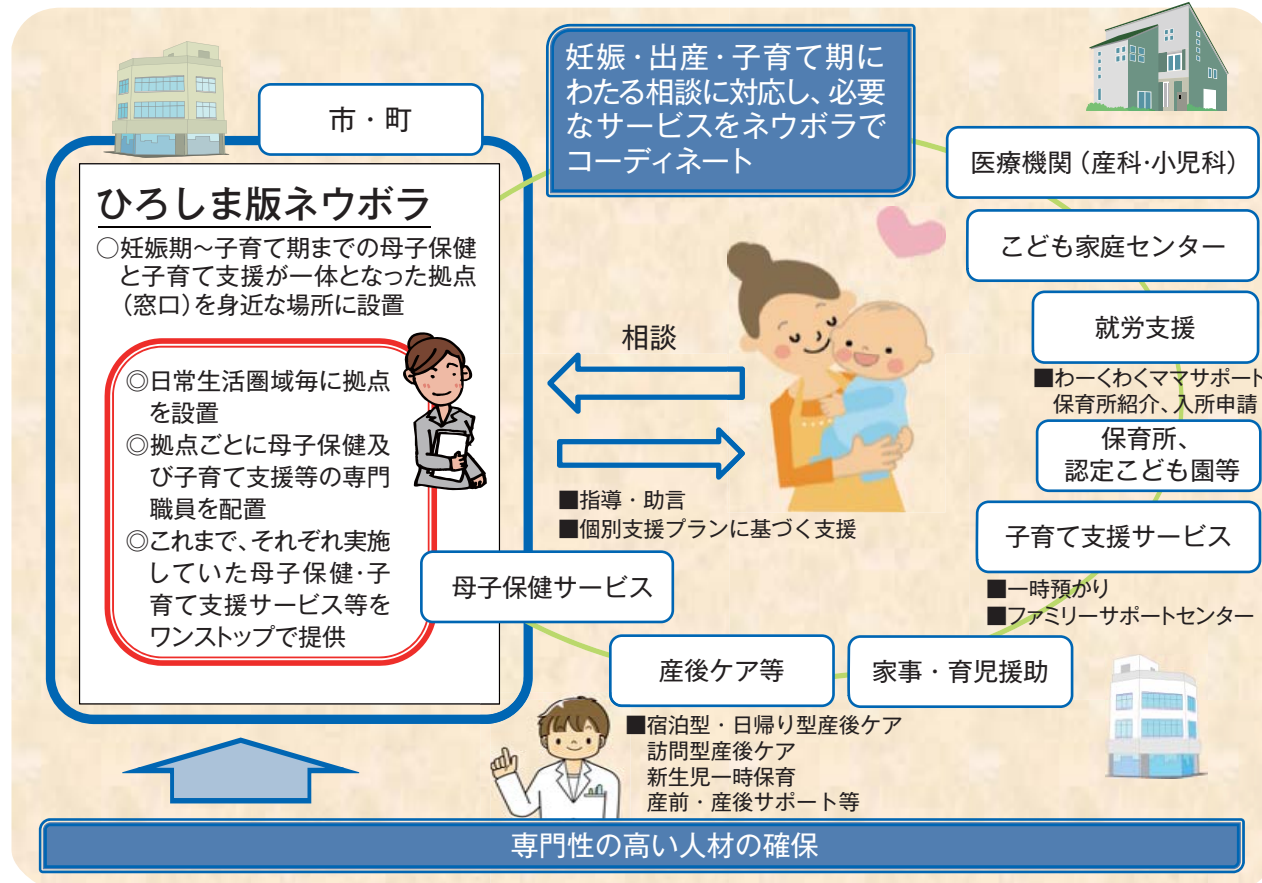
(出展：広島県財政課・単位：億円)

## 母子保健と子育て支援が一体となった「ひろしま版・ネウボラ」構築モデル事業(7,792万円)

核家族の増加などに伴い、出産や子育てへの不安の声が高まっており、よりサポート体制を強化していく必要があることから、妊娠から出産、子育てや保育所への入所申請の方法、就労の相談・支援まで一体となった支援体制を整備していくこととなりました。事業の効果や課題を検証するため「モデル事業推進会議」を設置し、今年度はモデル事業として3市町(尾道市、福山市、海田町)が設ける約20箇所の運営費を支援します。平成33年までに県内23市町と連携し全市町への設置を目指して取り組みを進めます。

### ひろしま版 ネウボラの 狙い

- 保健師等が継続的に対応することによる信頼関係の構築により、**育児の安心感**を与える。  
⇒ **身近な場所(125日常生活圏域)**での相談体制
- リスクの予防、早期発見、早期期支援**を図る。  
⇒ 母子保健と子育て支援が一体となった**ワンストップサービス**による切れ目のない支援



### 妊娠期～子育て期にわたるまでの総合支援

妊娠前	妊娠期	出産	産後	子育て期
妊娠に関する普及啓発	妊婦健診	乳児家庭全戸訪問	定期健診	子育て支援・就労支援 ・定期検診、予防接種 ・育児相談、就労支援 ・保育所 ・認定こども園等
不妊相談	両親学級等	産後ケア 宿泊型、日帰り型、訪問型 産前・産後サポート等	予防接種	

### ネウボラの解説

「ネウボラ」はフィンランド語で「アドバイスの場所」という意味。フィンランドのネウボラは、妊婦診察や乳幼児健診など産前・産後・子育ての切れ目ない支援を行うための「地域拠点」で、国策として800箇所以上設置され、様々な相談に対応している。

## 活動の中で取り組んでいる地域で実施される主な事業( )内は予算額

### ○瀬戸内海水産資源増大対策事業(2,416万円)

漁業生産額の減少を改善するため、地域の中核となる魚種(ガザミ、キジハタ、オニオコゼなど)を集中放流し水産資源の増大を図る。



ワタリガニ放流(稚ガニ)

### ○生活航路維持確保対策事業(6,400万円)

離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援や、架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援。

### ○かんきつ産地競争力強化対策事業(5,768万円)

中晩柑等をレモンに高接ぎ更新することにより、生産者の収益を確保し生産量を拡大。

### ○鳥獣害に強い集落等育成推進事業(1億4,900万円)

市町が策定する活動計画に基づき、集落住民への啓発や集落ぐるみの鳥獣被害対策への取り組みを支援し、鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施。

### ○県道三原本郷線(1億8,600万円)

三原駅から佛通寺等への観光施設へのアクセス道路の整備を促進。

### ○国道432号加茂バイパス(1億400万円)

広島空港と尾道松江線世羅ICを相互に連絡する道路の整備を促進。

### ○海岸整備・尾道糸崎港機織地区(2億1,000万円)

高潮・津波に対する海岸保全のための護岸や堤防等の整備。

### ○三原警察署・宮沖交番の移転建替(4,061万円)

地域住民の治安を守る交番の機能を確保するため、老朽化した現在2号沿いにある交番を市立宮沖保育所跡地に移転し建替える。

平成30年春に完成見込。(住所:宮沖5-5-1)



## 移住希望地ランキングで平成28年広島県が全国第4位に上昇

東京のNPOふるさと回帰支援センターの調査によると、平成26年には移住希望地ランキングが18位だった広島県が一気に4位まで順位を上げました。(平成28年:1位山梨・2位長野・3位静岡)所属会派で予算特別委員会の参考人としてセンターの高橋理事長を招聘してご意見をいただき、私も質問に立ち、執行部と如何に広島県を移住定住先として選んでいただくかについて議論を行いました。県当局も全国の自治体に先駆けて専門窓口を東京の有楽町に開設し、県職員を配置して精力的に対応にあつたことがこの結果につながったものと考えています。首都圏をはじめとした県外の多くの方々に広島の魅力を伝え、まずは訪れていただき「移住を検討するなら広島県」となるようにこれからも関係機関と連携して頑張らせて参ります。